

第9回東京多摩地区5国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和3年11月10日(水) WEB会議(Google Meet)	
委員	委員長 林 静雄 (大学名誉教授) 委員 相葉 和良 (弁護士) 委員 清水 至 (公認会計士)	
審議対象期間	令和2年7月1日～令和3年6月30日	
抽出案件(合計)	5件	<p>(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。</p> <p>抽出案件の個別審議は、委員3名により審議を行った。</p> <p>その際、委員会資料「資料7-①～⑤」に基づき、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。</p>
工事(小計)	5件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
委員からの意見・質問 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問等	回 答
<p>1. 今年度の庶務担当の東京農工大学から、委員の紹介の後、委員長を選出を行った。</p> <p>また、議題及びタイムスケジュール説明を行い、議題1～3について、説明を行った。</p> <p>なお、議題1～3は、資料を事前配付しており、概要説明後、承認された。</p> <p>参考1の点検事項に、⑥「6,000万円以上の工事で一般競争入札を行わなかった事業」とあるが、これは「通常指名競争入札」又は⑤「随意契約のうち少額随契でない事業」に該当するので、次回から点検事項から外しても良いのではないか。</p>	
<p>2. 5大学建設工事及び設計・コンサルティング業務抽出案件の審議（議題4）</p> <p>1) 点検事項①及び④ 【東1号館高置水槽等改修工事:電気通信大学】</p> <p>1者辞退の理由はどのようなものか。</p> <p>業者の繁忙期と重ならないように工事の時期を検討した方が良いという意見はこれまで何度も出されているが、今回時期を変えられなかったのは何故か。</p> <p>工事自体に特殊工法等、難しいものはあるか。</p> <p>難しいものでなければ、参加業者がもう少し増えそうに思う。</p> <p>技術者のレベルは落とせないのか。</p> <p>他大学の例も参考に、将来に向けて検討してほしい。</p>	<p>ヒアリングを行ったところ、年度末で、専任でできる技術者が不足しているためとのこと。</p> <p>この工事は断水を伴うため当初は夏休み期間を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で工期を確保できず、冬休み期間も短いため、年度末の春休み期間となった。</p> <p>特に難しいものではない。</p> <p>工書の額が上がると技術者の資格も上がり、該当する技術者が少なくなる。</p> <p>品質確保のため、また、法規の定めもあり、難しい。</p>

意見・質問	回 答
<p>2) 点検事項③及び④</p> <p>【教育実践研究支援センター 2 号館改修電気設備工事：東京学芸大学】</p> <p>低入札価格調査の資料には、本社と大学の距離が近いことが理由として挙げられているが、他の業者はどのくらいの距離にあるのか。</p> <p>予定価格に大学と業者間の距離は考慮されるのか。</p> <p>予定価格が合理的に決定されるのは良いと思う。結局のところ、入札業者が多かったので、競争性が強く作用したということか。</p> <p>予定価格と入札金額の乖離が大きかった部分は分かるのか</p> <p>資材が半額とのことだが、規格など品質に問題はなかったのか。</p> <p>取引先から安価で入手できたとのことか。</p> <p>他の業者も同じ傾向か。</p> <p>P.17「低入札価格調査の実施概要」は、説明された内容が記載されていないが、大学で作成したものか、業者が提出したものか。</p> <p>今後はこの場できちんと議論できるものを出すようにしてほしい。</p>	<p>他の業者は調査していないので詳細までは不明だが、大学から近い業者が多かった。</p> <p>考慮されない。</p> <p>電子入札なので、参加者には入札者数は分からない。どの業者も仕事が少ない時期であり、それが入札金額に反映されたと考えられる。</p> <p>予定価格に比べ、電灯設備が約半額、諸経費が3分の1となっている。</p> <p>問題はなかった。</p> <p>長年の取引先から纏めて仕入れるなど、相当安価で入手できたということ。</p> <p>同じ傾向であった。</p> <p>この資料は、業者が提出したものを元に大学で作成したもので、業者提出のものには記載されている。</p> <p>了解した。</p>

意見・質問	回 答
<p data-bbox="204 293 759 371">【一般競争不調又は不落による随意契約 4 件：東京学芸大学】</p> <p data-bbox="188 432 759 600">不落後にどのように随意契約に持ち込んだのか。予定価格を上げたのか、下げたのか。業者をどのように選んだのか、どのように安価な契約に持ち込めたのか等を聞きたい。</p> <p data-bbox="193 757 451 786">3 件とも同じ業者か。</p> <p data-bbox="188 848 592 878">次の案件は、どのようなものか。</p> <p data-bbox="188 1173 759 1294">いずれも少額随契ではないので、今後は資料には契約に至った経緯も記載するようにして欲しい。</p>	<p data-bbox="793 432 1374 696">複数団地をまとめて公告をしたが、参加者 0 だったため、3 つの団地に分けて再公告をした。しかし、やはり参加者 0 となったため、本学で工事実績のある業者に声をかけた。工事内容は、再公告のものから変更していない。</p> <p data-bbox="793 757 995 786">同じ業者である。</p> <p data-bbox="793 848 1374 1113">当初、排水設備と排水管更生を合わせて公告をした。入札参加は 1 者あったが、価格が全く折り合わなかったため、排水設備と排水管更生を分けて公告をし直した。排水設備は契約できたが、排水管更生は契約できなかった。</p> <p data-bbox="793 1173 916 1202">了解した。</p>

意見・質問	回答
<p>3) 点検事項④</p> <p>【附属図書館照明設備更新(LED化)工事: 東京外国語大学】</p> <p>予定価格は器具の定価に対してどれくらいの割合で作成し、それに対して、入札金額はどのくらいの割合だったのか。</p> <p>労務費が安価となった理由は何か。</p> <p>現在の労務費は、下がる傾向にあるのか。</p> <p>現在の環境(コロナ禍など)も影響していると思われる。特殊な要因を労務費に反映させるのは中々難しいとは思いますが、工事がきちんとできていれば問題ない。</p> <p>特殊な事情なのか、恒久的な傾向なのか、今後に向けて分析しておくが良い。</p>	<p>器具に関しては、予定価格は過去の実績を基に算定しており、入札金額とそれほど開きはなかった。どちらかという、労務費が入札金額では安価となっていた。</p> <p>企業努力によるものと考えられる。</p> <p>全体的には、それほど下がっているようには見受けられない。</p> <p>工事はしっかり行われており、問題ないと考えている。</p>

意見・質問	回 答
<p>4) 点検事項④</p> <p>【(小平)国際学生宿舎一橋寮内装改修工事：一橋大学】</p> <p>総合評価落札方式で、金額以外の要因で順位が逆転する可能性はあるのか。</p> <p>予定価格をすべての業者が下回った理由は何か。</p> <p>今後に向けて分析すると良い。</p>	<p>入札金額が僅差であれば、逆転する可能性がある。</p> <p>撤去工事について、労務費が全体的に安価であった。また、同じ間取りの部屋が多いことも理由として考えられる。</p>

意見・質問	回 答
<p>5) 【小金井団地ライフライン再生（中央監視設備）工事：東京農工大学】</p> <p>令和元年度に工事をした時には、中央監視設備の工事が必要になると分かっていたのか。</p> <p>見積を取ったのは、発注した業者か、別の業者か。</p> <p>予定価格はどのように算定したのか。</p> <p>令和元年度の工事業者と今回の工事業者は同じか。</p>	<p>平成30年度に停電事故が多発したため、令和元年度に緊急営繕として予算措置があり、老朽化した部分だけ工事し、中央監視設備は取り残された形となった。そのため、令和2年度に正式に予算要求して、今回の工事となった。</p> <p>元々あった中央監視設備の製造業者（発注した業者）から取った。</p> <p>この工事には、中央監視設備、ケーブル工事及び仮設電源工事が含まれる。 中央監視設備は製造業者、ケーブル工事は大学における積算、仮設電源工事は電気設備業者による見積で積み上げた。</p> <p>令和元年度は、本学で工事実績のある複数の電気設備業者から見積を取って、金額の低い業者が工事を行った。中央監視設備の製造業者は、下請で入っている。</p>

意見・質問	回 答
(その他) について今年度は特になし。	

委員講評

今年度は低入札が大変多く、新型コロナウイルスの影響もあるのかもしれませんが、各大学とも適切に対応しているようです。特に意見を申し上げるところはありません。毎年良い状況が続いていますので、大変良いことだと思います。

低入札が多かったことについて、特殊な事情があるかもしれませんが、何が原因なのか分析して、来年の発注の際には、少し気を付けていただいた方が良いかもしれません。